

ファシリテーション養成講座

(株)シエハラザード代表坂本祐央子氏を講師に迎え、10月31日(月)に、2年生文フロと理数科を対象に「ファシリテーション養成講座(基本編)」、11月7日(月)に、1年生文フロと理数科を対象に「ファシリテーション養成講座(応用編)」を行いました。

2年生の基本編では、探究や課題研究での主体的な活動のために、汎用的なスキルとしてのファシリテーションの方法を学び、身に付けることが目的です。課題研究に必要な話し合いを円滑に進めることができるファシリテーションの方法について、その入り口を体験し、基本を身に付けることができました。

1年生の応用編では、思考するためのフレームを使い、それぞれのアイデアを分類し、ブレインストーミングをおこなうという、さらに実践的な議論の方法を体験しました。

1年生も2年生も、これからの課題研究や日々の学習の中で、ファシリテーションの技術をいかしていってくれることでしょう。

基本編



応用編



自然科学研究 I (第1学年理数科)

「地学実習」(9月21日)

金沢大学理工学域地球社会基盤学系のロバート・ジェンキンス先生の指導のもと、金沢市大桑町犀川河床にある大桑層(おんまそう)で、「地学実習」を行いました。実習前に、学校で地球誕生から46億年の地球の歴史と生物の進化、および示相化石と示準化石について学習しました。

実習の当日は、ジェンキンス先生から講義を受けた後、大桑層へ移動し貝化石を採取しました。採取した化石は、金沢大学でクリーニングと同定作業をしました。

この日は前日まで雨が降り、化石を採取できるか心配でしたが、幸い雨もやみ、どの班も多数の化石を手にすることができました。同定した化石から、当時の環境やその変動等について、レポートにまとめました。



「プログラミング講座」(10月28日)

金沢大学理工研究域フロンティア工学系の軸屋一郎先生と久保守先生を講師に迎え、前半はプログラミング(プログラミング言語は「Python」)についての講義と、実際にプログラミングをして、ドローンを飛行制御する実習を行い、後半は画像解析と顔認識に関するプログラミングをドローンの操作と組み合わせ、人工知能の体験も行いました。石川県では2校目、能登地区では初めての实習です。

